

ルクソール神殿

ルクソール神殿は、新王国時代にカルナック神殿の副神殿として建てられました。年に1度、ナイル川の増水期に、アメン神が妻ムト女神と過ごすために訪れる「オベト祭」のために造られました。



★★ 見学地の一部に、ゆるやかな坂道や山道、斜面、また階段があったり、見学地まで長い距離を歩くことがあります。



ギザのピラミッド

およそ4,500年前に建設され、三大ピラミッドとはクフ王、カフラー王、メンカウラー王が親子3代にわたって建造したピラミッドのことを指します。



スフィンクス像

スフィンクスとは、エジプト神話やギリシア神話、メソポタミア神話などに登場する、ライオンの身体と人間の顔を持った神聖な存在あるいは怪物のことを指します。



4つ星ホテルに宿泊

- 2/3(土)、4(日)、5日(月)、6日(火)
M/S ROYAL ADVENTURE もしくは同等クラスのクルーズ船
- 2/7(水)
カイロ：ラディソンブルー もしくは同等クラスのホテル



アブシンベル神殿

古代エジプト神殿建築の最高傑作といわれるアブ・シンベル神殿は、ナイル川にせり出した岩山を掘削して造られた岩窟神殿で、神殿正面には高さ約22mもあるラムセス2世の座像が4体並び、足元には彼の母や王妃、息子、娘などの小さな立像があります。

このような場所も見学します

大エジプト博物館

100年前に発見されたツタンカーメン王の5000点を超す副葬品。それらを収蔵する新たな博物館がギザの大ピラミッド群のほど近くに2023年末までにオープン予定です。

メムノンの巨像

ルクソールのナイル川西岸にある高さ15mの1対の巨像。第18王朝のアメンホテプ3世(在位前1417~1379)の像で、本来は同王の豪華な葬祭殿の塔門の前に安置されていたが、塔門などの建物は現存しません。

カラブシャ宮殿

カラブシャ神殿は、ヌビアの太陽神マンドゥリスが祀られ、ヌビアの神々に捧げられた神殿です。神殿は、新王国時代に建設されたアメンホテプ2世やトトメス3世が関わっていたといわれており、その後、プトレマイオス朝、ローマ帝国支配時代を通して再建されました。

※このほかの立ち寄り場所や、詳しい行程については右ページの日程表をご覧ください。

※現地ではガイドがご案内いたします。

株式会社 国際交流サービス社長 辻田 洋一が関西国際空港より同行します。

- エジプト入国には有効残存期間が6カ月以上のパスポートとビザが必要です。
- エジプト入国の際のビザ取得につきましては、実費25ドル(約3,750円)+弊社手数料1,500円が発生します。
- 関西空港から成田空港までの国内線追加希望の方は別途実費にて手配致します。
- 国内諸税 成田空港使用料:2,460円、成田旅客保安サービス料:550円、国際観光旅客税 1,000円
- 海外諸税 別途現地諸税が約8,000円程発生します。(10月中旬時点)
- 別途燃油サーチャージが約45,000円程発生します。(10月中旬時点)
- 申込金 10万円
- 1人部屋利用:5泊分 70,000円(税込)
- 海外旅行総合保険加入ご希望の方は別途承ります。
- 最少催行人数 15名